

# 金と権力があるからといって、おまえらに権利はない!

金持ちと庶民と  
ロック映画好き必見

EAT THE RICH

国の半分を買うことができても  
人間としての品性を買うことはできない  
私利私欲と偽善にまみれた、カス=クズ=金持ちどもめ!

《社会の底辺が金持ちを喰いちぎる映画》

# 金持ちを喰いちぎれ

が デジタルリマスター

Michael White presents an IRON FIST Picture EAT THE RICH Written by PETER RICHARDSON and PETE RICHENS Starring LANAH PELLAY LEMMY  
NOSHER POWELL FIONA RICHMOND Director of Photography WITOLD STOK Edited by CHRIS RIDSDALE Executive Producer MICHAEL WHITE Produced by TIM VAN RELLIM  
Directed by PETER RICHARDSON Soundtrack by MOTORHEAD

で36年ぶりに帰ってきた!

肥えたブタには、ミンチを喰わせてやる!



■限り込む豪華キャストだ!  
ストラングラーズのヒュー・コーネー、ボークスのシェイン・マカヴァン、  
ビートルズのポール・マッカートニー、ウオッシュ・ロリング、スティーブのビル・ワイマン、  
カニヤスのスティーヴ・ウー、ウオッシュ・ロリング、スティーブのビル・ワイマン、  
スウィート・アンクル、ロンドンの職人アン・ドゥ・パン、  
デラット・ボイのボブ・アッジー、ボウイ  
人間の初乳モーターヘッド

ロナルド・アレン  
ラナー・ペレー  
フィオナ・リッチモンド  
サントラ・ドーン  
レミー  
ノッシャー・パウエル

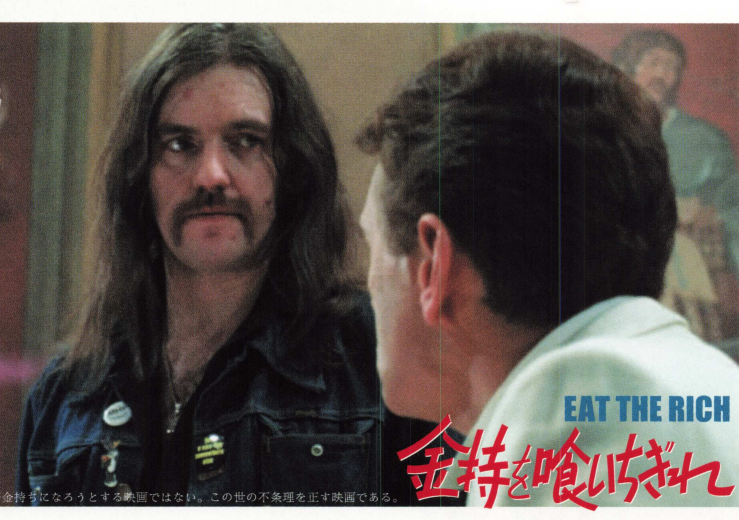
- 監督ピーター・リチャードソン
- 脚本ピーター・リチャードソン  
ピート・リッチェンス
- 製作ティム・ヴァン・レリム
- 製作総指揮マイケル・ホワイト
- サウンドトラック:モーターヘッド

1987年 | イギリス映画 | 89分 | アイアン・フィスト・ピクチャー制作 | 原題: EAT THE RICH  
© 1987 National Film Trustee Company Ltd. All rights reserved.  
キングレコード提供 ビーズインターナショナル配給

# EAT THE RICH

あらゆる差別とヒエラルキーを吹き飛ばして散った、スーパーブラック社会派ロックンロールコメディ超怪作!





EAT THE RICH

金持を喰いちぎれ

※これは貧民が金持ちになろうとする映画ではない。この世の不条理を正す映画である。

ロンドンで最も金持ちの集まる高級レストラン<バスターズ>のウェイトーアレックスは、いけ好かない客やマネージャーにいびられクビになり、身寄りも友人も家もなく社会の最下層に沈んだ。同じくロンドンで乱暴で下品だが実行力のある上流階級権力者、超タカ派内務大臣ノッシュは、ソ連のスパイである英国情報部司令長官が仕掛けた女性スキャンダルの罠にはまるが、送り込まれた高級コールガールは一発でノッシュの子をはらんだ。底辺部隊を組成するアレックス。<イト・ザ・リッチ>と改名されたそのレストランでミンチ肉料理に舌鼓を打つ英国首相ほか権力者や金持ちたち。社会の最上位と最底辺の対決のときが迫る。

1980年代、バンク・ムーブメントを力強く押さえこみ社会保障カットとフォークランド戦争で大英帝国を再建した剛腕サッチャー政権下、生活苦に耐えきれなくなったイギリス国民がついに立ち上がった！一部の金持ちだけが優雅な生活を謳歌し、庶民ばかりが苦しむ許しがたい世の中！人種差別、性差別、階級差別、選民主義、権威主義に怒りを爆発させ、反旗をひるがえす大貧民たちが金持ちを血祭りにする！庶民派テレビ局の社会風刺コメディ番組「ザ・コミック・ストリップ」でポストモンティ・パイソンとして注目を浴びた英国コメディ集団コミック・ストリップの一員ピーター・リチャードソン監督が、パイソンズより遥かに過激に強烈な風刺を利かせて制作、猛烈な社会批判を展開するも初公開時、その猛毒に誰もついて行けず映像史上空前の空振りを記録した、勇気溢れるとんでもないブラック・コメディが36年ぶりに戻ってきた。「グルメの叙事詩」とも評されるグルメ映画史にさん然と輝く極悪異端作でもあり、前人未到の社会派超怪作だ。製作総指揮は『ロッキー・ホラー・ショー』（75）のマイケル・ホワイト。主演にはジェンダーのボーダーをかるく突破、舞台、映画、テレビ、ラジオ、音楽などどこでも活躍するラーナ・ペレー、元ヘヴィ級プロ・ボクサーであり、007シリーズのスタントで知られるノッシャー・パウエルが上流階級の内務大臣にふんしている。また暴走ロックンロールの帝王モーターヘッドをサウンドトラックに起用、劇中唐突なライブシーンが差し込まれ、その創始者である極悪レミーが台詞を含めた演技を披露。そしてポール・マッカートニー、アンジー・ボウイ、サンディ・ショウ、クー・スターク、シェイン・マゴウアン（ポグス）、ヒュー・コーンウェル（ストラングラーズ）、ビル・ワイマン（ローリング・ストーンズ）ら豪華ミュージシャン、俳優、モデル、作家、アーティストたちが大挙カメオ出演、なぜ映っているのかは不明だが、作品のテーマに賛同したと信じることも可能だ。作品内容と完成度、そして世の中の反応、作品が受けた仕打ち。すべてがあまりのことにたいへんなこととなった本作は、数十年の熟成を重ねて気づくと『ロックンロール・ハイスクール』『さらば青春の光』『スパイナル・タップ』『ザ・コミットメンツ』『スクール・オブ・ロック』等のロック映画好きはもちろん、この世の金持ちと庶民、貧民は必ず観なければならない作品となっていた。何でも値上げで生きづらさ増す日本の現状からすれば、我々は80年代英国人の気持ちに納得するだろう。そして何の躊躇もなくそれを映画という表現で世に叩きつけた本作は、あらゆる物事が<ぶつろ>に落ち着こうとする現代において人類が忘れ去ろうとしている何かをもたらすにちがいない。この年月を経て、人類はこの猛毒の理解に近づいたのか、それとも遠ざかったのか、進化か退化を問われる正式リバイバルで、遂に金持ちを喰いちぎるときがやってきてしまったのだ。

- 監督……ピーター・リチャードソン
- 脚本……ピーター・リチャードソン  
ビート・リッチェンス
- 製作……ティム・ヴァン・レリム
- 製作総指揮……マイケル・ホワイト
- 撮影……ウイールド・ストック
- 編集……クリス・リスデル
- サウンドトラック……モーターヘッド
- 音楽……サイモン・プリント  
ローランド・リヴオン  
ダニエル・エルクストン

- 出演
- ロナルド・アレン
- ジミー・ファック
- ラーナ・ペレー
- フィオナ・リッチモンド
- サンドラ・ドーン
- レミー
- ノッシャー・パウエル
- ロン・ター

- ゲスト出演の  
"ザ・コミック・ストリップ"メンバー
- ロビー・コルトレーン
- ドーン・フレンチ
- ナイジェル・プレイナー
- エイドリアン・エドモンドソン
- リック・メイヨール
- ジュニア・ソルダース

- さらにゲスト出演
- キャシー・パーク
- カトリン・カートリッジ
- ショーン・チャップマン
- ダーレン・ネスビット
- ミランダ・リチャードソン
- クー・スターク
- ルパート・ヴァンジッター

- さらに豪華ミュージシャン出演
- ヒュー・コーンウェル  
(THE STRANGLERS)
- ジュールズ・ホルランド
- ポール・マッカートニー
- シェイン・マゴウアン  
(THE POGUES)
- サンディ・ショウ
- スティーヴ・ウォルシュ  
(KANSAS)
- ビル・ワイマン  
(THE ROLLING STONES)
- アンジー・ボウイ
- ワーゼル  
(MOTORHEAD)
- フィル・キャンベル  
(MOTORHEAD)
- フィルシー・アニマル・テイラー  
(MOTORHEAD)



『金持を喰いちぎれ』1987年|イギリス映画|89分|アイアン・フィスト・ピクチャー制作|原題:EAT THE RICH  
© 1987 National Film Trustee Company Ltd. All rights reserved. キングレコード提供 ビーズインターナショナル配給

横浜シネマリン

上映開始 23.9.30 ~

045-341-3180